総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	民生部長 宇佐美 悟
計 画	施策項目	1 環境自治体の形成	シート作成日	令和元年10月1日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度	②:まあまあ達成できている(60%以上)
-----	----------------------

#### 2 施策概要

目的と 方針	美しい水郷・田園環境と共生する特色ある環境自治体の形成に向け、総合的な指針づくりのもと、多面的な環境・景観施策を計画的に推進します。	得られた 成果	国や県との連携のもと、市内に生息する外来生物(ブラウジングアント)の分布調査及び防除作業を継続実施し、自然環境の保全に努めた。公害防止対策として、河川の水質検査、自動車騒音調査、地盤沈下、地下水位の観測を実施し、環境保全に努めることができた。
-----------	--	------------	---

成果指標名	単位	最新値	目標値	評価	
(基本計画掲載分)	平位	(時点)	(H30年度)	(達成度)	
エコカーの導入台数(市庁舎)	台	9.0	12	A(75~99%)	
(17) (17) (17)		(H30年度)	12	A(75° 9970)	
  河川の水質汚染濃度(宝川)(BOD)	ma/l	6.1	10.0	S(100%)	
河川の小貝乃未辰及(玉川)(BOD)	mg/l	(H30年度)	10.0	3(100%)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名	実施計画	実施計画の有無公的関与	全体 事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の
(総合計画)			回の有無			(人)	必要性	有効性	達成度	効率性	今後の 方向性
公害防止対策の 推進	公害対策事業	公害対策事業	×	9	920	0.022	4	4	2	4	現状維持

成果の	投入資源	の方向性	今後の施策展開の方針・改善内容など
方向性	事業費	人員	7 後の心泉展開の力率 は音符合なこ
<b>→</b> (現状維持)	→(現状維持)	→(現状維持)	豊かな自然環境を将来に継承するため、自然の基盤である生物多様性の保全を推進する必要がある。引き続き市内14か所の水質検査を行い、良好な水質維持に努める。 庁舎内における地球温暖化対策に取り組み、温室効果ガスの排出削減に努める。 地域における環境美化活動の促進や公害防止対策の推進など、市民の生活環境の保全に努め、環境にやさしく快適で安全・安心なまちづくりを進めていく。

総合	<u> </u>	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	民生部長 宇佐美 悟
計画		施策項目	2 上水道の充実	シート作成日	令和元年10月1日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度 ①:
--------

#### 2 施策概要

	安全・安心な水の安定供給に向け、広域 的連携のもと、海部南部水道企業団による 給水体制の充実を進めます。	得られ <i>た</i> 成果	施設の老朽化対策及び地震等災害対策 として、耐震性の低い接着接合の継手を有 する塩化ビニル管更新事業を計画的に進 め、安全な給水体制に努めました。
--	--	--------------------	--

成果指標名	単位	最新値	目標値	評価	
(基本計画掲載分)	中世	(時点)	(H30年度)	(達成度)	
年間配水量	m³	5,344,421	5,572,000	A(75~99%)	
十 <b>间</b> 能小里		(H30年度)	3,372,000	A(73. 9990)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体 事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の
(総合計画)						人人	必要性	有効性	達成度	効率性	今後の 方向性
	該当事項なし										

成果の	投入資源	の方向性	今後の施策展開の方針・改善内容など
方向性	事業費	人員	7後の心泉展開のカッド以告内各なと
→ (現状維持)	→(現状維持)	→(現状維持)	今後も引き続き、塩化ビニル管等の耐震性の低い経年管の更新やその他の 管路、配水管の耐震化を進め、水道施設の老朽化対策及び災害対策を計画 的に行っていきます。

4	総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	開発部長 大野勝貴
	計画	施策項目	3 下水道の充実	シート作成日	令和元年10月10日

### 1 施策項目別の評価結果

達成度	③:あまり達成でききていない(40%以上)
-----	-----------------------

### 2 施策概要

目的と	美しく快適な居住環境づくりと河川等の水質保全に向け、市全域における汚水処理	得られた	公共下水道整備は、全県域汚水適正処理構想に基づく整備を推進し、平成30年度には新たに24.3haの面整備を完了しました。
方針	施設の早期整備に努めます。	成果	毎年、着実な面整備事業を推進し供用区域の拡大を図ります。

成果指標名	単位	最新値	目標値	評価 (達成度)	
(基本計画掲載分)	半世	(時点)	(H30年度)		
公共下水道事業計画区域面積	ha	301.6	300	S(100%)	
公共下小道事業計画區域面價	Па	(H 30年度)	300	3(100%)	
汚水処理人口普及率(合併処理浄化槽等含まず。)	%	51.7	44.0	S(100%)	
77、近年八口首及平(日所近年77に信寺日より。)	90	(H 30年度)	44.0	J(10070)	
下水道・排水処理施設の整備に関する市民の満足度	%	25.2	30.0	A(75~99%)	
「小道・排小処理施設の金浦に関する川氏の満た度		(H 29年度)	30.0	A(75 9970)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	3 細事務事業名	実施計画の有無	画   関   月   月   月   月   月   月   月   月   月	全体 事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の
(総合計画)						(人)	必要性	有効性	達成度	効率性	方向性
公共下水道事業 の推進	公共下水道施設 建設事業	公共下水道施設 建設事業	0	3	929,620	3.750	4	4	3	4	拡大•充実
農業集落排水施 設等の適正管理	コミュニティ・プラ ント管理事業	コミュニティ・プラ ント管理事業	0	3	11,368	0.245	4	4	4	4	現状維持
農業集落排水施 設等の適正管理	農業集落排水施 設管理事業	農業集落排水施 設管理事業	0	3	242,953	1.019	4	4	4	4	現状維持
下水道事業の健 全運営	公共下水道施設 維持管理事業	公共下水道施設 維持管理事業	0	3	103,027	0.997	4	4	2	4	現状維持

成果の	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
方向性	事業費	人員	
↑ (拡大・充 実)	→ (現状維持)	→(現状維持)	市街化区域を中心とする人口集中地域を重点整備区域として公共下水道の整備を推進し、汚水処理人口普及率の向上を図ります。 しかし、接続率につきましては低迷しているため、引き続き下水道の接続促進に努め接続率の向上を図ります。

総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	民生部長 宇佐美 悟
計画	施策項目	4 廃棄物処理等環境衛生の充実	シート作成日	令和元年10月1日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度 ②:まあまあ達成できている(60%以上)	
--------------------------	--

#### 2 施策概要

目的と	循環型社会の形成に向け、広域的なごみ処理・リサイクル体制、し尿処理体制の充実を進めるとともに、3R運動※を促進します。また、市営墓地・火葬場の適正な維持管理に努めます。  ※リデュース(発生抑制)・リュース(再使用)・リサイクル(再生使用)運動	得られた	ごみ処理計画に沿った効率的なごみの収集を行うことができた。また、広域的連携のもと、海部地区環境事務組合による、ごみ及び資源の適正な処理ができた。市民の自主的なごみの減量化及び再資源化の意識向上が図られた。さらに、海部地区環境事務組合との広域的連携により、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理ができた。
方針		成果	墓地・火葬場施設は適切な運営及び維持管理等を行うことにより、火葬及び葬送行為が円滑かつ厳粛に執り行うことができた。

成果指標名	単位	最新値	目標値	評価 (達成度)	
(基本計画掲載分)	平位	(時点)	(H30年度)		
家庭系ごみ排出量	+	9,279	8,700	A(75~99%)	
	t	(H30年度)	0,700	A(70' 9970)	
事業系ごみ排出量	t	2,425	2,100	A(75~99%)	
争未示この併山里	·	(H30年度)	2,100	A(73. 93%)	
資源ごみ回収量		1,142	2,100	B(50~74%)	
貝派この凹収里	t	(H30年度)	2,100	□ (30~74%)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名	実施計画	公的	全体 事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の
(総合計画)			画の有無	的関与		( <b>人</b> )	必要性	有効性	達成度	効率性	方向性
3R運動の促進	ごみ収集事業	ごみ収集啓発事 業	×	9	1,946	0.105	3	4	1	4	方法改善
3R運動の促進	生ごみ処理機等 設置事業	生ごみ処理機等 設置事業	×	9	7	0.001	4	3	3	4	現状維持
ごみの不法投棄 対策の推進	ごみ収集事業	不法投棄処理事 業	×	2	5,616	0.103	4	4	2	4	現状維持
浄化槽の適正管 理の指導	合併処理浄化槽 設置整備事業	合併処理浄化槽 設置整備事業	×	9	8,630	0.048	4	4	2	3	方法改善

成果の	投入資源	の方向性						
方向性	事業費	人員	7後の心泉展開のカッド以告内各なと					
→ (現状維持)	→(現状維持)	→(現状維持)	災害時に発生するごみを迅速かつ適正に処理できるように、収集・処理体制の確立を図っていく。(災害廃棄物処理計画の策定) 引き続き啓発活動により、ごみ分別のさらなる徹底、ごみの減量化、資源化を促進するとともに、不法投棄の未然防止対策として巡回パトロールの継続や不法投棄防止用カメラの活用により、不法投棄の監視強化及び早期発見、早期回収に努める。 下水道整備の進捗に伴い、今後は汲み取り量及び浄化槽汚泥量の減少が見込まれます。事業の合理化を図る中で許可業者とより一層の連携をとり、計画収集の徹底に努め、住民サービスの低下を招かないように収集の効率化を推進していく。 火葬場施設の建替え(新築)を見据え、安定的かつ確実な火葬の執行と環境対策のため計画的な修繕を実施する必要がある。					

総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	開発部長 大野勝貴
計 画	施策項目	5 公園・緑地の整備	シート作成日	令和元年10月10日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

#### 2 施策概要

目的と 方針	レクリエーション・いこいの場、子どもの遊び場の確保と防災機能の向上、緑あふれる快適な環境づくりに向け、総合的な指針づくりのもと、公園・緑地、親水空間の整備及び緑化を推進します。	得られた 成果	新たな公園等の設置はできませんでしたが、適切な管理のもと、身近な公園としての都市公園や子供の遊び場等により、市民にやすらぎの場を提供することができました。また、三ツ又池公園には市民参加による芝桜の植栽活動により観光等への一翼を担いました。
-----------	--	------------	---

成果指標名	単位	最新值	目標値	評価 (達成度)	
(基本計画掲載分)	中区	(時点)	(H30年度)		
市民1人当たり都市公園面積	m <sup>‡</sup> /人	2.9	3.0	A(75~99%)	
市民   八当たり都市 A 国面領	111/ )	(H30年度)	3.0	A(70 - 9970)	
公園・緑地の整備に関する市民の満足度	%	26.3	31.0	A(75~99%)	
	90	(H29年度)	31.0	A(10 - 9970)	
地元の公園の維持管理に参加している市民の割合	%	35	40.0	A(75~99%)	
地元の公園の福行官理に参加している市民の割占	70	(H29年度)	40.0	A(70 - 9970)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名	実施計画	公的	公 全体 事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の
(総合計画)			画の有無	的関与		<b>보</b> 송	必要性	有効性	達成度	効率性	方向性
公園・緑地、親水 空間の整備・保全	公園管理事業	公園管理事業	×	2	4,430	0.150	4	4	3	4	方法改善
公園・緑地、親水 空間の整備・保全	公園管理事業	公園管理委託事 業	0	3	38,136	0.230	3	4	3	3	現状維持

成果の	投入資源	の方向性	今後の施策展開の方針・改善内容など
方向性	事業費	人員	7後の心泉展開の力到・改善内谷なと
↑ (拡大·充 実)	→ (現状維持)	<b>→</b> (現状維持)	今後は、管理課を一元化し、維持管理の合理化を図り、多くの人に親しまれる空間を維持していきます。 また、市民参加による芝桜の植栽活動等は引き続き実施し、やすらぎと親しみを持った公園を目指します。

総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	開発部長 大野勝貴
計画	施策項目	6 治水安全度の向上	シート作成日	令和元年10月10日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度 ②:まあまあ達成できている(60%以上)	)
--------------------------	---

#### 2 施策概要

目的と 方針	海抜ゼロメートル地帯という土地条件や 東日本大震災の教訓を踏まえ、国・県との 連携のもと、海岸や河川の整備、排水対策 等を促進し、治水安全度の一層の向上を図 ります。	得られ <i>た</i> 成果	ー・二級河川の地震・津波・高潮対策の整 備促進を、国・県に対して要望活動を行い ました。
-----------	---	--------------------	--

成果指標名	単位	最新値	目標値	評価	
(基本計画掲載分)	1	(時点)	(H30年度)	(達成度)	
準用河川改修の整備率	%	97.1	94.1	S(100%)	
年の利用以修め金鵬平	70	(H 30年度)	54.1	3(100%)	
津波・緊急避難ビル指定箇所数	箇所	50	55	A(75~99%)	
洋波・系心性無にル指と固別数	固り	(H 30年度)	ออ	A(13 33%)	
八	<b>本</b> 記	16	7	C (1000/)	
公共施設屋上避難場所数	箇所	(H 30年度)	/	S(100%)	
河川改修や雨水排水対策の充実に関する市民の満	%	23.1	20.0	S(100%)	
足度	90	(H 29年度)	20.0	3(100%)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名	実施計画	公的関与	全体 事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の 方向性
(総合計画)	争伤争未在   		回の有無			(人)	必要性	有効性	達成度	効率性	方向性
河川整備の促進	河川維持事業	準用河川維持事 業	×	1	4,188	0.513	4	4	2	2	現状維持

成果の	投入資源	の方向性	今後の施策展開の方針・改善内容など
方向性	事業費	人員	7 後の心泉展開の力到・改善内谷なこ
→ (現状維持)	→(現状維持)	<b>→</b> (現状維持)	準用河川の整備は、概ね完了したが、鉄道施設の横断工作物の箇所が残っており、鉄道施設改修時に併せて整備を図っていきます。 木曽川高潮区間の尾張大橋部の未整備区間について、引き続き国・県に対 して、早期着手を要望していきます。

1	総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	総務部長 渡辺秀樹
	計 画	施策項目	7 消防・防火の充実	シート作成日	令和元年10月10日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

#### 2 施策概要

目的と 方針	東日本大震災の教訓や南海トラフ地震の 被害想定等を踏まえ、あらゆる災害に強い 安全・安心なまちづくりを進めるため、消 防・防災体制の充実を図ります。		防災訓練の実施により、防災意識の啓発 及び地域防災力の向上に努めた。 自主防災会などの防災資機材の購入に 対して補助し、自助、共助の取組を支援し た。 消防団員の確保、資機材の整備を行い、 各種訓練を実施し、消防力の維持向上を 図った。
-----------	---	--	---

成果指標名	単位	最新値	目標値	評価 (達成度)	
(基本計画掲載分)	+ 1	(時点)	(H30年度)		
防災ボランティアの数	人	244	220	S(100%)	
	<b>\</b>	(H30年度)	220	3(100%)	
自主防災会の数	組織	65	72	A(75~99%)	
日王防火云の奴	不且不以	(H30年度)	12	A(73.9990)	
企業等との災害時協定の締結数	件	70	25	C(10006)	
正未守との火舌时脇足の柿和奴	1 <del>11</del>	(H30年度)	20	S(100%)	
避難計画策定地区数	地区	6	9	B(50~74%)	
世	地区	(H30年度)	9	<b>□</b> (30~74%)	
		(H 年度)			
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名		公的	全体 事業費	人工	評価結果				今後の
(総合計画)	<b>事</b> 伪事未 <b>位</b>	和事物事未有	回の有無	的関与	(千円)	(人)	必要性	有効性	達成度	効率性	方向性
常備消防・救急 体制の充実	消防団運営事業	消防団運営事業	×	1	40,646	0.757	4	4	3	4	拡大•充実
消防施設・設備 の整備	消防設備整備事 業	消防設備整備事 業	0	3	3,694	0.380	4	4	3	4	現状維持
総合的な防災・ 減災体制の確立	防災会議事務事 業	防災会議事務事 業	×	1	1,963	0.053	4	4	3	4	拡大•充実
総合的な防災・ 減災体制の確立	自主防災組織支 援事業	自主防災組織支 援事業	0	4	7,894	0.380	4	4	3	3	拡大•充実
総合的な防災・ 減災体制の確立	防災訓練事業	防災訓練事業	0	4	1,866	0.053	4	4	3	3	拡大•充実

成果の	投入資源	の方向性	今後の施策展開の方針・改善内容など						
方向性	事業費	人員	7 後の心泉展開のカッドは音符合なこ						
↑ (拡大·充 実)	→(現状維持)	→(現状維持)	災害発生時に避難行動に時間を要する避難行動要支援者の迅速な避難を 促進していく。 自主防災組織未結成地区に対する結成を促進するとともに、既結成地区に おける活動を引き続き支援していく。 大規模災害発生時には、職員のみでの災害対応は限界があり、消防団員の 活動が非常に重要となることから、平時から団員の確保、資機材の整備を進 めていく。						

1	総合	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	作成部長名	総務部長 渡辺秀樹
	計 画	施策項目	8 防犯・交通安全の充実	シート作成日	令和元年10月10日

## 1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

#### 2 施策概要

目的と 方針	犯罪や事故のない安全・安心なまちづくりに向け、警察・団体、市民との連携のもと、 防犯体制、交通安全体制の強化を図ります。	得られた 成果	警察、自主防犯団体による啓発パトロールにより安全確保ができた。 警察と連携し交通安全キャンペーンなどの実施や小学校通学路を中心として交通安全街頭指導を交通指導員などが行い事故防止・啓発を図った。 犯罪発生件数、交通事故発生件数等は、目標値を達成することができた。 放置自転車の数は、年々減少してきている。
-----------	---	------------	---

成果指標名	単位	最新值	目標値	評価 (達成度)	
(基本計画掲載分)	平位	(時点)	(H30年度)		
防犯灯設置箇所数	箇所	5,626	5,700	A(75~99%)	
別化別 改臣固別 数	自力	(H30年度)	3,700	A(75° 9970)	
犯罪発生件数	件	344	500	S(100%)	
<u>化非光生计数</u>	1+	(H30年度)	300	3(100%)	
交通事故発生件数	件	215	230	S(100%)	
文通事成先主什数	1+	(H30年度)	230	3(100%)	
交通事故死者数	人	0	0	S(100%)	
文 <b>迪争</b> 成先有数	<b>\</b>	(H30年度)	O	3(100%)	
交通事故負傷者数	人	272	300	S(100%)	
大 <u></u>	<b>\</b>	(H30年度)	300	3(10070)	
		(H 年度)			

主要施策名	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的	全体 事業費	人工	評価結果				今後の
(総合計画)				的関与	(千円)	(人)	必要性	有効性	達成度	効率性	方向性
防犯に関する啓発等の推 進と自主防犯活動の促進	防犯対策事業	防犯対策事業	×	2	24,307	0.763	4	4	3	4	現状維持
交通安全に関す る啓発等の推進	交通安全啓発事 業	交通安全啓発事 業	×	2	3,814	0.320	4	4	3	4	現状維持
交通安全に関する啓発等の推進	交通指導員設置 事業	交通指導員設置 事業	×	2	9,545	0.220	4	4	3	4	方法改善
交通安全に関す る啓発等の推進	駐輪場及び放置 自転車関係事業	駐輪場及び放置 自転車関係事業	×	7	7,337	0.471	3	4	3	3	民間委託等
交通安全に関す る啓発等の推進	放置自動車対策 事業	放置自動車対策 事業	×	2	505	0.150	4	4	3	4	現状維持

成果の	投入資源の方向		今後の施策展開の方針・改善内容など						
方向性	事業費	人員	7後の心泉展開の分割・改善内谷なと						
→(現状維持)	→(現状維持)	→(現状維持)	「自らの安全は自らが守る。」、「地域の安全は地域で守る。」の意識の高揚を図るため自主防犯団体の育成・支援に取り組んでいく。 警察・教育委員会等と情報の連携・共有化により、市民への迅速な情報提供を図っていく。 子どもから高齢者まで、各世代に応じた交通安全教育の拡大・充実を図っていく。 放置自転車については、警告札の貼付、放置禁止区域の周知、自転車等駐車場の利用の呼びかけを継続的に行っており、放置台数は年々減少してきているが、依然として年間約200台近くの自転車等が放置されており、長期的な課題として取り組んでいく必要がある。						